

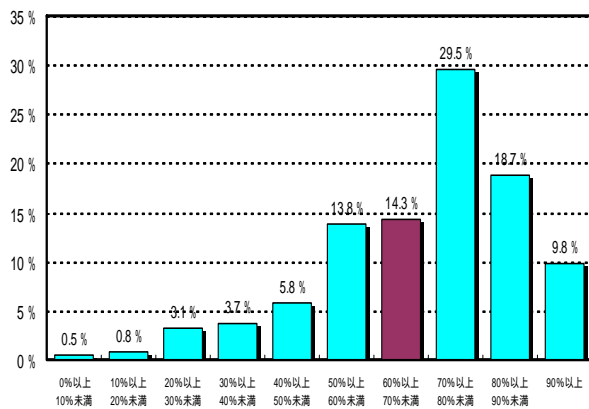
調査結果の概要

1 調査結果データ

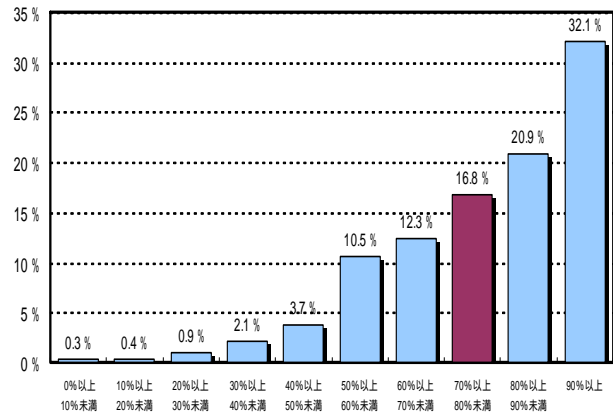
	受検者数(人)	平均通過率(%)	標準偏差	通過設問率が70%以上の生徒
国語	17,655	69.0	18.4	58.0
社会	17,646	77.3	18.0	69.8
算数	17,656	69.3	21.6	61.3
理科	17,649	79.8	17.0	78.2

2 各教科の通過設問率の度数割合のグラフ

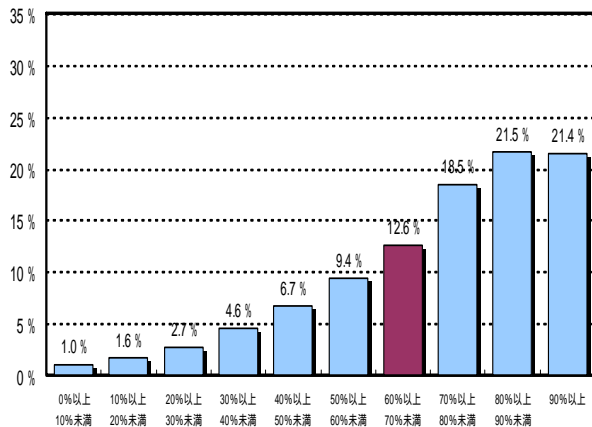
【国語】



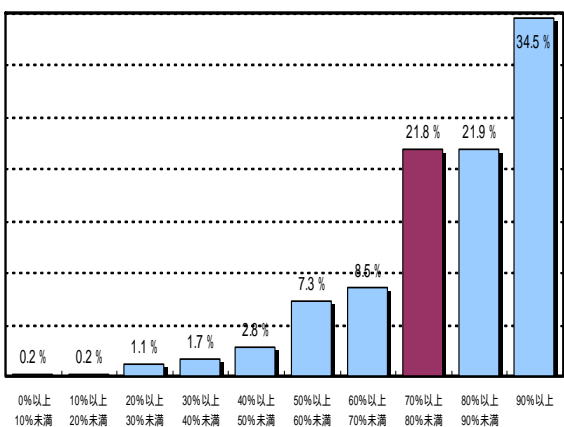
【社会】



【算数】



【理科】



3 各教科の結果概要

【国 語】

国語では、平均通過率が69.0%であり、これを度数分布のグラフで見れば、通過設問率が70%以上の生徒が、58.0%いる。全体の形が平均通過率の含まれる度数域よりも右よりの山の形であることから、国語で求められる力はおおむね定着していると考えられる。ただし、通過設問率が70%未満の生徒も42.0%に上り、個に応じた指導・支援の工夫が求められる。

おおむね良好

- ・ 話し合いの話題や異なる意見の要旨をとらえて的確に聞くこと
- ・ 主題や要旨を把握しながら読むこと
- ・ 漢語の構成を理解すること

不十分またはやや不十分

- ・ 指示語の指し示す内容を理解すること
- ・ 全体を見通して、書く必要のある事柄を整理すること
- ・ 文脈に即して漢字を正しく書くこと

【社 会】

社会科の平均通過率は77.3%である。通過設問率が70%以上の生徒の割合は全体の69.8%で、おおむね生徒は学習目標を達成できており、社会的な見方や考え方及び学習の中で身に付けるべき能力を身に付けていると考えられる。しかし、基礎的知識や概念の理解とその定着についてはやや不十分と思われる内容が見られる。

おおむね良好

- ・ 社会的事象を資料と関連付けて考えること
- ・ 資料やグラフを活用し、読み取ること

不十分またはやや不十分

- ・ 社会的事象の意味や働きを考えること
- ・ 基礎的知識や概念の理解とそれらを活用すること

【算 数】

算数科では、通過率の度数分布を見ると、通過率が高くなるにしたがって、各度数域に含まれる人数が多くなっており、二極化の傾向は見られない。平均通過率が70%以上の生徒が、全体の約60%であり、算数の学習到達状況は、おおむね良好といえる。しかし、全体の約10%以下ではあるが、通過率がかなり低い生徒もあり、習熟の程度に差が見られる。

おおむね良好な点

- ・ 異分母分数の加法、除法ができること
- ・ 小数の意味を理解すること
- ・ 平行線の性質や立体図形の平面の位置関係を理解すること
- ・ 数量の関係を式化すること及び式をよみとること

不十分またはやや不十分な点

- ・ 小数の除法を用いる問題で演算を決定し立式すること
- ・ 小数，分数の大小を比較すること
- ・ 面積を求めた過程を説明すること
- ・ 立体の頂点の位置関係を理解すること

【理 科】

理科では，平均通過率が 79.8%であり，通過設問率の度数割合のグラフにおいては，全体の形が右肩上がりであることから，全体として見れば，基礎的・基本的内容は定着しているものと考えられる。指導に当たっては，通過設問率 70%未満の生徒の分布にも十分配慮し，個に応じた指導の工夫を行うことが必要である。

おおむね良好

- ・ 生き物のくらしと環境，地層について理解すること
- ・ 一日の気温の変化の仕方と天気とを関係付けて考えること
- ・ 植物の成長，電磁石の働きを，条件を整えて調べること

不十分またはやや不十分

- ・ 電磁石や物の溶け方など，視覚的にとらえにくい現象についてまとめたり，考察したりすること
- ・ てこや電磁石の働きやきまりを，言葉で説明すること
- ・ 消化や物の溶け方などの現象に対して，きまりや規則性を当てはめて考えること